

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ

コード番号 2180 URL <http://www.ssu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 本部長 (氏名) 川崎 将一

TEL 03-6894-3233

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	2,389	31.3	76	42.8	70	20.9	63	341.1
23年6月期第1四半期	1,820	20.2	53	—	58	—	14	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 54百万円 (253.6%) 23年6月期第1四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	74.65	—
23年6月期第1四半期	17.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	3,891	1,293	32.7
23年6月期	3,932	1,252	31.2

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,272百万円 23年6月期 1,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,321	△1.7	44	△83.3	57	△78.7	29	△78.4	34.54
通期	8,236	6.4	123	△32.0	151	△25.9	76	10.6	90.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期1Q	847,600 株	23年6月期	847,600 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年6月期1Q	— 株	23年6月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期1Q	847,600 株	23年6月期1Q	815,500 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く市場環境は、一部に企業収益の改善の兆しが見られ広告宣伝費が回復基調にあるものの、受注単価は下落傾向にあり、継続的なレギュラー広告宣伝活動よりもスポットでの集中的な広告施策が選択されるトレンドにありました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による国内景気の停滞とともに広告市場の景気動向は不透明な状況のまま推移しており、一部に広告市場の景気改善の兆しが見られておりますが、依然厳しい状況が続いております。

こうした環境の下で当社は、新たな経営ビジョンとして中期経営計画で掲げた「創造型PR商社」への事業構造転換に向け、既存事業だけでなく新規プロジェクトの開発にも積極的に取り組んでおります。受託型ビジネスにおいては、クライアントニーズに対応すべく、費用対効果の高いワンストップソリューションの提供やPRコンサルティング領域のサービスの提供に注力し、新規クライアント獲得が増加。また、創造型の新規ビジネス領域では、7月にオープンしたbills国内3号店が増収に寄与。スポーツビジネス研修の開発、母親をターゲットとした新規メディア「ママゴト広場」のセールスをスタート。東日本大震災に伴う復興地子育て応援プロジェクト「mam-aid（マーメイド）プロジェクト」などを推進した他、新たな収益モデル開発に向けた活動を展開しております。

その結果、売上高2,389百万円（前年同期比31.3%増）、営業利益76百万円（同42.8%増）、経常利益70百万円（同20.9%増）、四半期純利益は63百万円（同341.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コミュニケーション事業

組織連携をさらに強化し、PR、SP、イベント制作、ネットプロモーションの統合提案を実施。既存クライアントを深耕するとともに、新規クライアントのスポット案件を数多く獲得し、利益率の高いPRコンサルティングサービスの提供にも注力いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は482百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

②スポーツ事業

当社が手掛けるスポーツビジネスにおいて、従来の「アスリートマネジメント」領域の収益柱である当社契約アスリートの肖像権契約が順調に推移したことに加え、現在注力している「スポーツプロモーション」領域であるスポーツ大会のPR・プロモーションや、アメリカでのスポーツビジネス研修の企画開発、そして、サッカー日本女子代表選手をはじめとする当社契約外アスリートのキャスティング等の新規ビジネスを創出することができました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は394百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

③開発事業

当社グループの開発事業は、「創造型PR商社」のビジョンに基づき、当社グループ独自の創造型事業をインキュベーションすることを主とした事業展開を行っております。

平成23年6月期より、bills事業が当セグメントから独立しておりますが、継続してスペシャリストや当社ネットワークを活用した新たな事業の企画開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、東日本大震災に伴う復興地子育て応援プロジェクト「mam-aid（マーメイド）プロジェクト」を新たにスタートした他、複数のビジネスが企画段階であります。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20百万円（前年同期比75.0%減）となりました。

④SP・MD事業

広告代理店経由のコンビニ向け大型販促キャンペーン等の受注が順調に推移しました。またWIST INTERNATIONAL LIMITEDグループにおける大手玩具メーカーからのOEM受託などが増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,141百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

⑤bills事業

当社所属スペシャリスト、ビル・グレンジャー（Bill Granger）による七里ヶ浜、横浜赤レンガ倉庫、お台場でのレストラン「bills」の運営を行っており、継続的に店舗PR、ブランディングを推進しております。平成23年7月16日に開店したお台場店舗には夏期休暇中の親子や観光客が数多く訪れ、さらに、お台場店舗のPR活動が既存店舗への集客促進に繋がったことで、当初計画以上の売上で推移しております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は348百万円（前年同期比77.8%増）となりました。なお、上述のbillsお台場店舗オープンにあたっての初期費用として41百万円を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、3,891百万円（前連結会計年度末比40百万円減）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が2,502百万円（同164百万円減）、固定資産が1,389百万円（同123百万円増）であります。また、負債合計は、2,598百万円（同82百万円減）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,127百万円（同63百万円減）、固定負債が470百万円（同18百万円減）であります。純資産合計は、1,293百万円（同41百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成23年8月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,462	626,804
受取手形及び売掛金	1,049,519	1,247,274
商品及び製品	1,150	1,198
未成業務支出金	224,573	133,715
原材料及び貯蔵品	6,129	6,232
前渡金	261,011	401,016
その他	94,525	91,558
貸倒引当金	△5,730	△5,242
流動資産合計	2,666,641	2,502,558
固定資産		
有形固定資産		
土地	520,818	520,818
その他(純額)	363,496	476,901
有形固定資産合計	884,315	997,720
無形固定資産		
のれん	17,464	15,614
その他	30,245	30,336
無形固定資産合計	47,710	45,951
投資その他の資産		
その他	359,479	371,212
貸倒引当金	△25,686	△25,686
投資その他の資産合計	333,793	345,526
固定資産合計	1,265,819	1,389,198
資産合計	3,932,460	3,891,756
負債の部		
流動負債		
買掛金	657,719	655,668
短期借入金	739,003	865,308
1年内返済予定の長期借入金	171,363	171,383
未払法人税等	73,461	12,052
賞与引当金	—	4,783
その他	549,997	418,356
流動負債合計	2,191,544	2,127,552
固定負債		
長期借入金	377,021	333,811
資産除去債務	28,154	38,566
その他	83,680	98,300
固定負債合計	488,856	470,678
負債合計	2,680,400	2,598,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,720	430,720
資本剰余金	491,320	491,320
利益剰余金	303,922	354,486
株主資本合計	1,225,962	1,276,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	644	215
為替換算調整勘定	△1,307	△4,617
その他の包括利益累計額合計	△662	△4,402
少数株主持分	26,759	21,401
純資産合計	1,252,059	1,293,525
負債純資産合計	3,932,460	3,891,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,820,224	2,389,610
売上原価	1,513,428	2,036,708
売上総利益	306,796	352,901
販売費及び一般管理費	253,271	276,495
営業利益	53,524	76,406
営業外収益		
受取利息	46	48
受取家賃	8,254	14,546
その他	6,978	168
営業外収益合計	15,279	14,764
営業外費用		
支払利息	3,577	3,811
為替差損	—	10,769
賃貸費用	3,210	3,665
その他	3,644	2,358
営業外費用合計	10,432	20,605
経常利益	58,372	70,564
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,879	—
特別利益合計	5,879	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,456	—
特別損失合計	1,456	—
税金等調整前四半期純利益	62,795	70,564
法人税等	47,674	12,521
少数株主損益調整前四半期純利益	15,121	58,042
少数株主利益又は少数株主損失(△)	775	△5,235
四半期純利益	14,345	63,277

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,121	58,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	△428
為替換算調整勘定	—	△3,310
その他の包括利益合計	235	△3,739
四半期包括利益	15,356	54,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,581	60,862
少数株主に係る四半期包括利益	775	△6,559

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	366,151	278,142	80,639	887,201	195,915	1,808,049	12,175	1,820,224	—	1,820,224
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	3,000	1,455	13,299	1,459	—	19,214	—	19,214	△19,214	—
計	369,151	279,597	93,939	888,660	195,915	1,827,264	12,175	1,839,439	△19,214	1,820,224
セグメント利 益又は損失 (△)	70,537	28,942	6,311	53,412	14,250	173,454	△10,277	163,176	△109,651	53,524

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△27
全社費用(注)	△109,623
合計	△109,651

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業 (注) 4	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	482,164	394,445	20,129	1,141,509	348,275	2,386,524	3,085	2,389,610	—	2,389,610
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	8,370	—	—	440	—	8,810	7	8,817	△8,817	—
計	490,534	394,445	20,129	1,141,949	348,275	2,395,334	3,093	2,398,427	△8,817	2,389,610
セグメント利 益又は損失 (△)	118,371	36,534	18	21,092	△2,800	173,216	△1,654	171,561	△95,155	76,406

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,431
全社費用(注)	△98,586
合計	△95,155

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成23年6月期より、bills事業が当セグメントから独立しておりますが、継続してスペシャリストや当社ネットワークを活用した新たな事業の企画開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。